

岐阜大学大学院連合獣医学研究科
博士課程学生募集要項

平成 29 年度 (秋季入学)・平成 30 年度 (第 1 次, 第 2 次)

構成国立大学法人

(帯 広 畜 産 大 学
岩 手 大 学
東 京 農 工 大 学
岐 阜 大 学)

連携研究機関

(国立感染症研究所
国立医薬品食品衛生研究所
農研機構 動物衛生研究部門
日本中央競馬会 (JRA 競走馬総合研究所)
公益財団法人 実験動物中央研究所)

THE UNITED GRADUATE SCHOOL OF VETERINARY SCIENCES

GIFU UNIVERSITY

**APPLICATION FOR ADMISSION TO
THE DOCTORAL PROGRAM**

FOR 2017(Fall Admission) and 2018 (The First & Second Admission)

AFFILIATE UNIVERSITIES

(OBIHIRO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND VETERINARY MEDICINE
IWATE UNIVERSITY
TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND TECHNOLOGY
GIFU UNIVERSITY)

AFFILIATE INSTITUTES

(NATIONAL INSTITUTE OF INFECTIOUS DISEASES
NATIONAL INSTITUTE OF HEALTH SCIENCES
NATIONAL INSTITUTE OF ANIMAL HEALTH
JAPAN RACING ASSOCIATION (EQUINE RESEARCH INSTITUTE)
CENTRAL INSTITUTE FOR EXPERIMENTAL ANIMALS)

別表 岐阜大学大学院連合獣医学研究科教育研究指導分野一覧の変更について

変更箇所

(P.6)備考欄

【変更前】 △平成 29 年 9 月及び平成 30 年 4 月入学生は募集しない。

→ 【変更後】 △平成 29 年 9 月入学生は募集しない。

Change “List of Research of Fields”, Page 23

(P.23)Remarks

【Before】 △indicates those who are not to recruit new students from Fall, 2017 and April, 2018

→ 【After】 △indicates those who are not to recruit new students from Fall, 2017

目 次

連合獣医学研究科憲章	1
I. 岐阜大学大学院連合獣医学研究科の概要	2
別表 岐阜大学大学院連合獣医学研究科教育研究指導分野一覧	4
II. 入学者選抜	7
試験場への案内	17
UGSVS Charter	18
I. Outline of the UGSVS Doctoral Program	19
List of Research Fields	21
II. Admission Policy	24
Access to the Venue for the Examinations	34
Gifu University Campus Map	35

この募集要項の翻訳版（英語）において、意味又は文言に相違があった場合、日本語版が優先します。

In the event of any discrepancy between the Japanese version and the English version, the Japanese version shall prevail.

連合獣医学研究科憲章

連合獣医学研究科は、帯広畜産大学，岩手大学，東京農工大学，岐阜大学及び5研究機関に在籍する獣医学系教員の連携協力のもと，一大学では期待し難い発展性と応用性の高い総合教育および研究指導を行い，広い視野と高度な専門能力を兼ね備えた研究者や技術者を養成することを目標としている。これにより獣医学術および関連諸科学の進展と21世紀社会の健全な発展に寄与し，国や社会から存在意義が高く評価される研究科を目指します。

1. 4大学5連携研究機関による連合効果を教育・研究面に十分活かすよう努める。
2. 専門能力はもとより広い視野と高度な倫理観を備えた人材を育成する。
3. 独創的・先駆的な研究を展開し，世界の研究教育拠点を目指す。
4. 研究成果を社会へ積極的に還元し，成果をもとに社会活動を推進する。
5. 留学生の人材育成等を通して国際貢献，国際交流を推進する。
6. 教職員の意志疎通を徹底し，効率的で円滑な管理運営を推進する。
7. 研究科の活動および運営全般を不断に点検し，積極的に改善・改革を推進する。

I. 岐阜大学大学院連合獣医学研究科の概要

1. 設置の趣旨

本研究科は、獣医学科又は獣医学課程を有する帯広畜産大学、岩手大学、東京農工大学及び岐阜大学の国立大学法人が連携協力して設置する標準修業年限4年の大学院博士課程で、1専攻4連合講座（5頁参照）からなる。

本研究科は、獣医学に関する高度な専門的知識と優れた応用能力を生かして、独創的かつ先駆的な研究を遂行しうる研究者及び社会の多様な方面で活躍できる高度技術者を養成し、獣医学及び関連諸科学の発展と社会の進展に寄与することを目的とする。

また、近年急増しつつある外国人留学生も積極的に受け入れ、獣医学術の国際的ニーズに対応し、国際協力にも貢献するものである。

2. 連合獣医学研究科の特色

本研究科を構成する4大学の教育研究内容には、それぞれの大学の沿革とその地域の立地条件に対応した特色がある。本研究科は、4大学獣医学科又は獣医学課程の連携協力により、これらの特色を縦横に活用し、一大学では望み得ない多彩な教育研究の展開を図る。また、平成13年度から国立感染症研究所、平成15年度から国立医薬品食品衛生研究所、平成16年度から農研機構動物衛生研究部門、平成20年度から日本中央競馬会（JRA競走馬総合研究所）および平成26年度から実験動物中央研究所との連携協力により、専門知識のある研究者による指導と高度な研究設備の整った同所での研究が可能となった。これにより多種多様な学生の志向に適切に応え、より自由な研究分野の選択を可能にするとともに、社会の要請に柔軟に応えうる人材を養成する。

出願及び修学上の特色は次のとおりである。

- (1) 出願者は、連合獣医学研究科の連合講座と其中的教育研究指導分野の1つを選んで出願する。
- (2) 本研究科では、学生1人について主指導教員1人のほかに副指導教員2人を充てる。従って学生1人につき3人の指導教員がつくことになる。
- (3) 学生は、主指導教員が専任として在職する構成法人に配属され研究指導を受けるが、他の構成法人の施設・設備も利用することができる。
- (4) 学生は、研究指導に加え、さらに講義、演習、実験を通じ計30単位以上を履修しなければならない。
- (5) 本研究科は、標準年限を4年とするが、優れた研究業績を上げ、かつ、所定の単位を取得した者にとっては3年又は3年6月で修了を認めることができる。

3. 専攻名と連合講座の概要

専攻	連合講座	概要
獣 医 学	基礎獣医学	哺乳類，鳥類を主な対象とし，それぞれの動物の有する形態及び機能についての高度な教育と研究を行い，併せて，病態，応用及び臨床の各分野に資する基礎的知識を修得させる。さらに各種動物の特性の背景となっている生命現象発現機構の理解を比較生物学的視点から深化させ，獣医学のみならず，バイオサイエンスの研究の発展に寄与する高度な教育と研究を行う。
	病態獣医学	基礎獣医学における動物の正常な形態と機能に関する知見を，応用及び臨床獣医学へつなげる領域である。疾病は，生物，物理及び化学的要因に対する生体応答であり，形態的变化（細胞性反応）と内因性物質の新生あるいは量的変化（体液性反応）として発現する。それら疾病の生体反応の仕組みを解明したり，その発現を阻止するための薬理的あるいは病理学的領域に関する高度な教育と研究を行う。
	応用獣医学	疾病の発生を規定している生体・病原・環境要因の特性とそれらの相互作用について，分子・個体・集団のレベルを合わせて総合的に理解を深めさせる。それを基盤として，各種動物の健康増進と伝染性・多発性疾患の予防による動物の福祉と生産性の向上，人獣共通感染症の対策，安全な食品の確保，環境の保全などに必要な理論とその応用に関する高度な教育と研究を行う。
	臨床獣医学	基礎，病態及び応用獣医学の各分野における知見を基盤とし，経済動物，伴侶動物，実験動物及び水生動物の個体並びに集団における疾病の発生原因，機序及び病態を解明するとともに，疾病のより高度な診断，治療及び予防法を確立する。併せて，産業動物の生産病対策及び胚移植に代表される発生工学的分野の進展とそれに随伴する病的要因の除去に関する高度な教育と研究を行う。

別表 岐阜大学大学院連合獣医学研究科教育研究指導分野一覧

連合講座名	教育研究指導分野	専門試験科目	主指導教員氏名 (所属大学)	研究内容
基礎獣医学	比較組織学	獣医解剖学	北村延夫 (帯広畜産大学)	消化器系及び自律制御系の比較組織学
			佐々木基樹 (帯広畜産大学)	分化、発達にともなう生殖器の機能形態
	ゲノム機能学	実験動物学	鈴木宏志 (帯広畜産大学)	発生工学による遺伝子の機能解析及び発生・生殖工学的技術開発
	原虫病高度診断学	獣医寄生虫学	横山直明 (帯広畜産大学)	家畜原虫病の疫学調査及びその制御法の確立
	原虫病予防治療学	獣医寄生虫学	河津信一郎 (帯広畜産大学)	原虫ゲノム・タンパク質機能情報に基づいた新たなワクチン・治療法の開発
	耐病性遺伝子工学	獣医寄生虫学	五十嵐慎 (帯広畜産大学)	原虫の宿主細胞内寄生機構に関する研究
	ベクター生物学	獣医寄生虫学	福本晋也 (帯広畜産大学)	ベクターにおける病原体感染成立機構
	家禽疾病学	獣医伝染病学	小川晴子 (帯広畜産大学)	家禽のウイルス感染症におけるウイルスの感染、増殖機構、病原性発現機序についての研究
	地球規模感染症学	獣医微生物学	加藤健太郎 (帯広畜産大学)	原虫の宿主細胞感染の分子機構の解明と新たな抗原虫戦略の確立
	神経解剖学	獣医解剖学	中牟田信明 (岩手大学)	脊椎動物の中樞神経系及び感覚器に関する比較解剖学
	細胞システム学	獣医解剖学	山本欣郎 (岩手大学)	感覚受容器の形態機能学
	細胞生理学	獣医生理学	木崎景一郎 (岩手大学)	胎子・母体間相互作用の分子細胞生理学
	モデル動物学	実験動物学	古市達哉 (岩手大学)	疾患モデル動物の開発およびそれを利用した疾患の態解機序の解明
	生殖生理学	獣医生理学	渡辺元 (東京農工大学)	生殖現象の内分泌学的調節機構の比較生理学
	比較解剖学	獣医解剖学	柴田秀史 (東京農工大学)	哺乳類の比較解剖学
	分子生理学	獣医生理学	永岡謙太郎 (東京農工大学)	生体の恒常性機能(内分泌, 代謝, 腸内細菌など)について分子レベルで理解する
	脳形態学	獣医解剖学	阿閉泰郎 (岐阜大学)	哺乳類及び鳥類の比較神経解剖学
	神経生理学	獣医生理学	志水泰武 (岐阜大学)	消化管運動の調節機序
			椎名貴彦 (岐阜大学)	食道機能を制御する神経系の研究
	神経組織学	獣医解剖学	齋藤正一郎 (岐阜大学)	系統発生学的視点を重視した神経組織学的研究
実験動物学	実験動物学	◆ 末水洋志 (岐阜大学)	ヒト疾患・病態解明に有用なヒト化マウスモデルの開発	
病態獣医学	神経薬理学	獣医薬理学	石井利明 (帯広畜産大学)	脳神経系における生理機能の発現や病態形成における分子機構の解明
	診断病理学	獣医病理学	古林与志安 (帯広畜産大学)	動物疾患の病理発生機序解明と診断法の確立
	病態病理学	獣医病理学	古岡秀文 (帯広畜産大学)	神経筋疾患の病理、感染症の病理(動物ブリストン病、Lawsonia感染症等)
	細胞病理学	獣医病理学	■ 御領政信 (岩手大学)	各種疾患の細胞レベルでの病態
	組織病理学	獣医病理学	落合謙爾 (岩手大学)	動物のさまざまな疾患の病態解析
	獣医寄生虫学	獣医寄生虫学	板垣匡 (岩手大学)	寄生虫の形態・分類学、疫学、生態学、分子系統学に関する研究
	毒性薬理学	毒性学	佐藤洋 (岩手大学)	ホルモンによる毒性発現とそのメカニズム研究
	臨床薬理学	獣医薬理学	■ 下田実 (東京農工大学)	薬物速度論に基づいた家畜における理想的な薬物療法の追求
			佐々木一昭 (東京農工大学)	動物における臨床薬物動態学
	毒性病理学	獣医病理学	渋谷淳 (東京農工大学)	化学物質により誘発される各種毒性影響や発がん性の分子メカニズムに関する研究
		毒性学	鈴木和彦 (東京農工大学)	線維化とがんの発症機序
	実験病理学	獣医病理学	吉田敏則 (東京農工大学)	病態モデル動物を用いた外的因子の生体影響に関する病理学的研究
	内因性物質薬理学	獣医薬理学	海野年弘 (岐阜大学)	平滑筋における薬物受容体の情報伝達機構の解明
	比較病理学	獣医病理学	柳井徳磨 (岐阜大学)	各種疾病の病理発生と比較病理学
	腫瘍病理学	獣医病理学	酒井洋樹 (岐阜大学)	動物の腫瘍性疾患の病理学的研究
	分子病理学	毒性学	☆ ■ 西川秋佳 (岐阜大学)	環境化学物質の病理学的リスク評価

連合講座名	教育研究指導分野	専門試験科目	主指導教員氏名 (所属大学)	研究内容
応用獣医学	蛋白毒素科学	獣医微生物学	倉園久生 (帯広畜産大学)	細菌感染症における蛋白毒素の役割
	病原微生物学	獣医微生物学	村上賢二 (岩手大学)	動物ウイルス感染症制御
	環境衛生学	獣医公衆衛生学	佐藤至 (岩手大学)	放射線内部被曝の防御に関する研究
	獣医免疫学	獣医微生物学	彦野弘一 (岩手大学)	動物における感染症およびワクチネーションに対する免疫応答
	病原感染因子学	獣医微生物学	古谷哲也 (東京農工大学)	病原性原虫・ウイルスの感染機構と防御
	獣医伝染病学	獣医伝染病学	白井淳資 (東京農工大学)	動物感染症蔓延防止に関する研究
	食品安全管理学	獣医公衆衛生学	藤川浩 (東京農工大学)	食品中での微生物増殖挙動
	獣医衛生学	家畜衛生学	竹原一明 (東京農工大学)	家畜伝染病の制御
	家畜感染症学	獣医微生物学	水谷哲也 (東京農工大学)	家畜や野生動物における未知のウイルスの探索
	獣医疫学	獣医公衆衛生学	林谷秀樹 (東京農工大学)	細菌性人獣共通感染症の疫学と予防
	行動生物学	獣医生理学	佐藤俊幸 (東京農工大学)	動物の行動の適応的意義とメカニズムに関する研究
	分子感染症学	獣医微生物学	△ 福士秀人 (岐阜大学)	DNAウイルスの増殖および病原性発現機構に関する研究
			大屋賢司 (岐阜大学)	細胞内寄生細菌の疫学と病態生物学
	人獣共通感染症学	獣医公衆衛生学	杉山誠 (岐阜大学)	ウイルス性人獣共通感染症の発生機構と制御に関する研究
			伊藤直人 (岐阜大学)	狂犬病ウイルスの病原性発現機構および新規狂犬病ワクチンに関する研究
	野生動物保護管理学	野生動物医学	鈴木正嗣 (岐阜大学)	野生動物の生態、生理、形態に関する応用研究
	動物感染症制御学	家畜衛生学	浅井鉄夫 (岐阜大学)	動物由来薬剤耐性菌
	感染症診断学	獣医公衆衛生学	猪島康雄 (岐阜大学)	感染症の発症機序の解明と診断法の確立
	新興感染症学	獣医微生物学	※ 大西真 (岐阜大学)	新興・再興人獣感染症の疫学・診断およびゲノム比較研究
		獣医公衆衛生学	※ 川端寛樹 (岐阜大学)	マダニ媒介性細菌感染症に関する研究
	動物由来感染症学	獣医公衆衛生学	※ 森川茂 (岐阜大学)	新興・再興ウイルス感染症等の重篤な人獣共通感染症についての疫学・診断及び予防に関する研究
			※ 井上智 (岐阜大学)	動物由来感染症の予防・制御法に関する研究 (狂犬病等の疫学・診断法・発症機序・治療法の解明)
	新興ウイルス学	獣医微生物学	※ 西條政幸 (岐阜大学)	新興ウイルス感染症の診断・治療法の開発と疫学や病態の解明
			※ 福士秀悦 (岐阜大学)	ウイルス性出血熱の疫学、ウイルス学的研究
	食品微生物学	獣医公衆衛生学	☆ 朝倉宏 (岐阜大学)	食品有害細菌に関する分子疫学と制御に関する研究
		獣医微生物学	☆ ■ 寺嶋淳 (岐阜大学)	食品由来感染症起因菌に関する研究
	家畜衛生学	家畜衛生学	★ 真瀬昌司 (岐阜大学)	鳥類に感染するウイルスの疫学
獣医微生物学	獣医微生物学	★ 西藤岳彦 (岐阜大学)	人獣共通感染症の感染疫学と発症機序の解明	
		★ 高松大輔 (岐阜大学)	動物及びミツバチの細胞感染症の感染疫学及び発症機構の解明	
国際重要伝染病学	獣医伝染病学	★ 菅野徹 (岐阜大学)	口蹄疫を代表とするウイルス性の国際重要伝染病の侵入およびまん延防止を目的としたウイルス学的研究	
動物感染症疫学	家畜衛生学	★ 筒井俊之 (岐阜大学)	動物感染症に関するモデリング手法を用いた理論疫学と観察疫学手法を用いた実地疫学	

連合講座名	教育研究指導分野	専門試験科目	主指導教員氏名 (所属大学)	研究内容
臨床獣医学	大動物内科学	獣医内科学	猪熊壽 (帯広畜産大学)	大動物の内科疾患の診断法および治療法に関する研究
			松本高太郎 (帯広畜産大学)	大動物の感染症の診断および治療に関する研究
	臨床病理学	獣医臨床病理学	宮原和郎 (帯広畜産大学)	家畜の各種疾患における画像診断を中心とした臨床病理学的研究
	大動物臨床外科学	獣医外科学	佐々木直樹 (帯広畜産大学)	大動物臨床外科学
	繁殖障害診断治療学	獣医臨床繁殖学	松井基純 (帯広畜産大学)	ウシの卵巣および子宮機能異常による繁殖障害の病態生理の解明
	馬繁殖学	獣医臨床繁殖学	南保泰雄 (帯広畜産大学)	雌ウマの生殖内分泌機構の解明
	牛病学	獣医臨床病理学	山岸則夫 (帯広畜産大学)	牛疾患の病態と診断・治療法
	代謝病学	獣医内科学	佐藤繁 (岩手大学)	乳牛の周産期疾病の病態及び予防に関する研究
	小動物病態内科学	獣医内科学	佐藤れえ子 (岩手大学)	免疫不全などの病態に対する解析と新規免疫賦活療法の開発
			山崎真大 (岩手大学)	伴侶動物の内科疾患の診断法および治療法に関する研究
	小動物臨床外科学	獣医外科学	宇塚雄次 (岩手大学)	獣医小動物外科学分野における診断、治療法の開発
	機能再建外科学	獣医外科学	片山泰章 (岩手大学)	小動物における臓器移植の病態生理および外科的治療法の開発
	繁殖機能制御学	獣医臨床繁殖学	高橋透 (岩手大学)	家畜の繁殖障害の診断・治療・予防に関する研究
	生産獣医療学	家畜衛生学	岡田啓司 (岩手大学)	家畜のQoLの評価と改善に関する研究
	動物園動物・野生動物医学	獣医外科学	福井大祐 (岩手大学)	動物園動物・エキゾチック動物・野生動物の疾病の病態解明および診断・治療・予防に関する研究
	家畜不妊症防除学	獣医臨床繁殖学	田中知己 (東京農工大学)	家畜の繁殖障害の病態解明と新しい診断・治療・予防法の開発
	腫瘍臨床病理学	獣医臨床病理学	町田登 (東京農工大学)	伴侶動物に発生する腫瘍性疾患の疫学と臨床病理
	獣医皮膚科学	獣医内科学	西藤公司 (東京農工大学)	哺乳動物に発症する皮膚疾患の病態・診断・治療に関する研究
	分子診断治療学	獣医内科学	打出毅 (東京農工大学)	伴侶動物における分子診断・治療に関する研究
	実験外科学	獣医外科学	田中綾 (東京農工大学)	循環器疾患の病態評価、治療法の検討
	小動物診断治療学	獣医外科学	福島隆治 (東京農工大学)	小動物における不整脈診断法と治療法の研究
	小動物内科学	獣医内科学	西飯直仁 (岐阜大学)	小動物の内分泌疾患の新規診断治療法の確立
	獣医寄生虫病学	獣医内科学	鬼頭克也 (岐阜大学)	動物の寄生性疾患及び血液病の病態解明並びに診断・治療・予防法の開発
			高島康弘 (岐阜大学)	寄生虫と宿主の関係
	臨床腫瘍学	獣医外科学	森 崇 (岐阜大学)	伴侶動物における腫瘍疾患の病態解明と新規治療法の開発
	臨床免疫学	獣医内科学	前田貞俊 (岐阜大学)	動物の免疫介在性疾患における分子病態の解明
	獣医臨床神経病学	獣医内科学	神志那弘明 (岐阜大学)	動物の神経疾患における分子病態の解明
	臨床繁殖学	獣医臨床繁殖学	村瀬哲磨 (岐阜大学)	哺乳動物精子の受精機能を調節する機構の解明
			高須正規 (岐阜大学)	哺乳動物における分子育種学的研究
	産業動物臨床学	獣医内科学	大場恵典 (岐阜大学)	産業動物における疾患の診断・治療・予防に関する研究
小動物歯科口腔外科学	獣医外科学	渡邊一弘 (岐阜大学)	小動物歯科口腔外科における診断、治療の開発	
馬蹄病学	獣医病理学	◇ 桑野睦敏 (岐阜大学)	馬の蹄病の病態解析	
馬生産育成学	獣医臨床繁殖学	◇ 佐藤文夫 (岐阜大学)	馬の生産から育成期における飼養管理や疾病の対処方法に関する調査研究	

※国立感染症研究所との連携を示す。

☆国立医薬品食品衛生研究所との連携を示す。

★国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門との連携を示す。

◇日本中央競馬(JRA競走馬総合研究所)との連携を示す。

◆公益財団法人実験動物中央研究所との連携を示す。

■平成29年度末定年退職予定者(受験希望者はご相談ください。)

△平成29年9月及び平成30年4月入学生は募集しない。

Ⅱ. 入学者選抜要項

アドミッション・ポリシー

連合獣医学研究科は、獣医学教育課程を有する帯広畜産大学、岩手大学、東京農工大学および岐阜大学の4国立大学法人が連携協力して設置する標準修業年限4年の獣医学に関する大学院博士課程で、1専攻、4連合講座からなっています。また、人や動物の感染症、医薬品や食品の安全を使命とする厚生労働省・国立感染症研究所、同・国立医薬品食品衛生研究所、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構・動物衛生研究部門、日本中央競馬会競走馬総合研究所および公益財団法人実験動物中央研究所が連携教育機関となっています。学生はこれらの4大学および5連携研究機関のいずれかで主に研究を実施し、教育を受けることになります。連合獣医学研究科を構成する各大学および連携研究機関には、それぞれの沿革、立地条件、施設目的等に対応した特色があり、これらの特色を活用することにより、一大学では望み得ない多彩な教育研究を実施します。

連合獣医学研究科は、獣医学とそれに関連する諸科学を基盤に、人と動物の生命活動の探求を通じて、自然、人、動物が調和して繁栄できる社会の創造に貢献できる研究者や高度専門技術者の育成を教育理念とします。学部教育で培われた基礎知識と応用能力を有する獣医学卒業生、他教育課程を終えた修士修了生、また、高度な技術や科学の習得を希望する外国人留学生を積極的に受け入れます。

求める学生像

1. 獣医学を通じて社会貢献に意欲を有する人
2. 獣医学やそれに関連した諸科学に関して研究心を有する人
3. 獣医学やそれに関連した分野で技術の向上に意欲のある人
4. 獣医学を基盤に、国際貢献に意欲のある人
5. 獣医学に関連した諸学問に興味があり、自らの専門性を探求したい人

連合獣医学研究科では、獣医学に関する高度な専門知識と優れた応用能力を涵養し、国際的、独創的かつ先駆的な研究を遂行し得る研究者と多様な分野で活躍できる高度技術者を養成することを目標としている。

【入学を期待する人物像】

前項の目標を達成するため、連合獣医学研究科では以下のような人を求めている。

- ・専攻する獣医学分野の基礎学力を有する者
- ・国際語である英語の学力を有する者
- ・課題探求心が旺盛な者
- ・幅広い視野と旺盛な学習意欲を有する者
- ・基本的な社会性及び倫理性が備わっている者

1. 募集人員

専攻	募集人員
獣医学	20名

上記の募集人員の他に外国人留学生若干名を受け入れる。

なお、帯広畜産大学、岩手大学、東京農工大学では平成30年4月の新研究科設置に向け、設置計画書を提出中であり、設置が許可された場合には、第1次・第2次の募集人員が変更になる場合があります。

2. 出願資格

- (1) 大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者及び平成30年3月（秋季入学者にあつては平成29年9月）卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程(最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学に限る。)を修了した者及び平成30年3月（秋季入学者にあつては平成29年9月）修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学に限る。)を修了した者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学に限る。)を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が5年以上である課程(最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学に限る。)を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて(4)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）
 - ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
 - ② 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
 - ③ 修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者
 - ④ 前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた者で、修業年限6年の獣医学、大学の医学、歯学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者
 - ⑤ 大学（獣医学、医学又は歯学を履修する課程を除く）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事し

た者で、当該研究の成果等により、大学の修業年限 6 年の獣医学、医学、歯学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者

- (7) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院（医学を履修する博士課程、歯学を履修する博士課程、薬学を履修する博士課程（当該課程に係る研究科の基礎となる学部の修業年限が 6 年であるものに限る。）又は獣医学を履修する博士課程に限る。）に入学した者であって、当該者をその後に本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科が認めた者
- (8) 個別の入学資格審査により、大学の医学、歯学又は修業年限 6 年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、24 歳に達した者

対象となる者：短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校、外国人学校の卒業者等
--

- (9) 大学における医学、歯学又は修業年限 6 年の薬学若しくは獣医学を履修する課程に 4 年以上在学し、又は外国において学校教育における 16 年の課程（医学、歯学又は修業年限 6 年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を含む者に限る）を修了し、所定の単位を特に優れた成績をもって修得した者と本研究科が認めた者
- (10) その他(1)に掲げる者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者
- ① 従前の大学における修業年限 4 年の獣医学を履修する課程を卒業した者で、卒業後、獣医学に関連する研究その他の業務に入学時（その年度の 4 月 1 日（秋季入学者にあつては 10 月 1 日）とする）において 2 年以上従事していること。
- ② a) その他大学における修業年限 6 年の獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者
- b) 著書、学術論文、学術報告等により修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有すると本研究科が認めた者

* (4) から (7)、(9) 及び (10) に該当する場合は、出願に先立ち、本要項の 14 頁の 12. による出願資格の認定を受けること。また、(8) に該当する場合も本要項の 15 頁の 13. による入学資格の認定を受けること。

3. 出願期間

	出 願 期 間
第 1 次・秋季入学	平成 29 年 7 月 18 日（火）～ 7 月 27 日（木）まで（当日消印有効）
第 2 次	平成 29 年 12 月 13 日（水）～ 12 月 19 日（火）まで（当日消印有効）

* 出願書類は、持参又は郵送とし、持参の場合の受付は土、日、祭日を除き 9 時から 16 時 30 分までとする。

4. 出願手続

出願にあたっては次の出願書類及び検定料を添えて手続きをし、受験票の交付を受けること。
郵送による出願の場合は、本研究科所定の封筒を使用し、必ず「書留速達」とすること。

(1) 出願書類及び検定料

①	入学願書	本研究科所定の用紙（別紙連獣研様式第1号） 出願者は別表を参照して連合講座と教育研究指導分野の1つを選んで出願すること。
②	履歴書	本研究科所定の用紙（別紙連獣研様式第2号）
③	修業年限6年の学科（学部）卒業（見込）証明書又は修士課程修了（見込）証明書	
④	成績証明書	a. 出身大学の学部のもの b. 出身大学院の研究科のもの *修業年限6年の学科（学部）卒業者については、aのみとする。
⑤	写真 2枚	出願前3か月以内に撮影したものを入学願書及び受験票に貼付する。 上半身、脱帽、正面向き、縦6cm×横4.5cmのもの。
⑥	卒業論文又は修士論文等の概要 5部 正 1部 副（コピー可）4部	A4判の用紙を使用して和文の場合は2,000字程度、英文の場合は1,200語程度で記載し、本研究科所定の表紙（別紙連獣研様式第3号）をつける。ただし、卒業論文を課されていない者については、職場等におけるこれまでの研究経過報告書を提出すること。なお、これらのいずれも提出することが不可能なものは、本研究科に出願するに至った経緯を1,000字以内にまとめて提出する。
⑦	研究計画書 5部 正 1部 副（コピー可）4部	A4判の用紙を使用して和文の場合は1,000字程度、英文の場合は600語程度で入学後に希望する研究内容を具体的に記載し、本研究科所定の表紙（別紙連獣研様式第4号）をつける。
⑧	受験承諾書	本研究科所定の用紙（別紙連獣研様式第5号） 官公庁又は会社等に在職している者は、所属長又は代表者の受験承諾書を提出すること。
⑨	住民票または パスポートコピー （外国人志願者）	外国人出願者は、市町村の発行する在留資格が記載された住民票又は入国査証の写しを提出すること。出願時に海外に在住している者はパスポートの写しを提出すること。
⑩	返信用封筒	郵便番号、住所、あて名を明記し、392円切手を貼った定形型封筒（縦20.5cm×横9.0cm）
⑪	検定料	30,000円 別紙所定用紙で銀行振り込みし、その納入書を提出すること。 ※ <u>日本国政府から奨学金を支給されている外国人留学生は免除されるので、国費外国人留学生証明書を提出すること。</u> ※平成29年9月又は平成30年3月に構成国立大学法人の修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学を志願する者は検定料を徴収しません。

③および④の証明書は出身学校が発行した原本を提出してください。提出した原本の返却を希望する場合は、その旨連合獣医学係へ申し出てください。

(2)提出先

岐阜大学大学院連合獣医学研究科 連合獣医学係

5. 肢体不自由者等の事前相談について

本研究科に入学を志願する者で、障害（次表参照）がある場合は、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とすることがありますので、あらかじめ本研究科と相談してください。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね 0.3 未満又は視力以外の障害が高度なもので、拡大鏡等を使用して文字等を認識することが不可能又は著しく困難な程度のも
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもので、補聴器等を使用しても通常の話し声を理解することが不可能又は著しく困難な程度のも
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が、補装具を使用しても歩行等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のも 2. 前号の程度未満で、常時の医学的な観察指導を必要とする程度のも
病弱者 「身体虚弱者を含む」	1. 疾患の状態（慢性の呼吸器系疾患等）が、継続して医療又は生活規制を必要とする程度のも 2. 身体虚弱の状態が、継続して生活規制を必要とする程度のも

*学校教育法施行令第 22 条の 3 の規程に準拠した。

(1) 相談時期

相談の内容によっては、対応に時間がかかり、特別措置が講じられないこともありますので、出願期間が始まる数日前までに相談してください。

(2) 相談方法

下記事項を記載した書類（様式任意）を提出願います。

- ① 志望の専攻名，連合講座名，主指導教員予定者名
- ② 出身大学，学部，学科等の名称
- ③ 障害の種類・程度（医師の診断書が必要な場合があります）
- ④ 受験上特別な配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上特別な配慮を希望する事項
- ⑥ 出身大学でとられていた特別措置
- ⑦ 日常生活の状況

(3) 相談先

岐阜大学大学院連合獣医学研究科 連合獣医学係

6. 岐阜大学大学院連合獣医学研究科入学試験選抜概要（過去5年間）

獣医学専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成29年度2次	20	9 (3)	9 (3)	9 (3)	9 (3)
平成29年度1次		19 (0)	18 (0)	17 (0)	15 (0)
平成28年度(秋季)	若干人	6 (4)	6 (4)	5 (4)	5 (4)
平成28年度2次	20	11 (2)	10 (2)	8 (2)	8 (2)
平成28年度1次		8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)
平成27年度(秋季)	若干人	8 (7)	8 (7)	7 (6)	7 (6)
平成27年度2次	20	18 (10)	18 (10)	17 (9)	17 (9)
平成27年度1次		14 (1)	14 (1)	13 (0)	13 (0)
平成26年度(秋季)	若干人	8 (5)	8 (5)	8 (5)	8 (5)
平成26年度2次	20	15 (1)	14 (1)	12 (0)	12 (0)
平成26年度1次		11 (5)	11 (5)	8 (3)	8 (3)
平成25年度(秋季)	若干人	7 (4)	6 (4)	5 (3)	5 (3)
平成25年度2次	20	11 (4)	10 (3)	9 (2)	8 (2)
平成25年度1次		14 (0)	14 (0)	13 (0)	13 (0)
平成24年度(秋季)	若干人	7 (4)	6 (3)	6 (3)	6 (3)

* () 書きは、外国人留学生で内数

7. 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び成績証明書の結果を総合して行う。

学力検査

① 筆記試験

ア.外国語：英語

イ.専門科目：出願した教育研究指導分野の専門試験科目（4~6頁の別表参照）

② 口頭試問

卒業論文（又は修士論文）、研究計画書等の内容を中心に行う。口頭試問の時間は一人につき約30分程度とする。最初の10分は受験生の卒業論文（又は修士論文）、研究計画等の説明に当て、その後質疑に入る。

※液晶プロジェクターを用いてのプレゼンを行う。（パソコンは持参可）

8. 試験の日時及び場所

日 時		試験科目		試験時間	場所
第 1 次 秋季入学	平成 29 年 8 月 31 日 (木)	筆記 試験	外国語	9 : 00 ~ 10 : 30	岐阜大学大学院 連合獣医学研究科
			専門科目	11 : 00 ~ 12 : 30	
		口 頭 試 問		13 : 30 ~	
第 2 次	平成 30 年 2 月 1 日 (木)	筆記 試験	外国語	9 : 00 ~ 10 : 30	岐阜大学大学院 連合獣医学研究科
			専門科目	11 : 00 ~ 12 : 30	
		口 頭 試 問		13 : 30 ~	

9. 合格発表

第 1 次 秋季入学	平成 29 年 9 月 5 日 (火)	正午	岐阜大学大学院連合獣医学研究科、帯広畜産大学畜産学部、岩手大学及び東京農工大学農学部及び岐阜大学大学院連合獣医学研究科ホームページ上で掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付する。
第 2 次	平成 30 年 2 月 19 日 (月)	正午	

岐阜大学大学院連合獣医学研究科ホームページ
<http://www1.gifu-u.ac.jp/~ugvphdhp/index.html>

10. 入学手続

(1) 入学手続期間

秋季入学合格者：平成 29 年 9 月 5 日（火）から 9 月 15 日（金）までとする。

第 1 次・第 2 次合格者：平成 30 年 3 月上旬に必要な書類を郵送し、手続期間を連絡します。

受付時間は、土、日、祭日を除き 9 時から 16 時 30 分まで。

郵送の場合は、指定した期日までに「書留速達」で手続を行うものとする。ただし、秋季入学合格者にあつては、平成 29 年 9 月 15 日（金）（17 時）までに必着のこと。

(2) 入学に要する経費

① 入学料 282,000 円（予定額）

② 授業料 267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料を適用するスライド制が適用されます。

平成 29 年 9 月又は平成 30 年 3 月に構成国立大学法人の修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学する者は入学料を徴収しません。

なお、日本国政府から給与が支給されている国費外国人留学生は入学料、授業料とも免除されます。

* 前期分の授業料は平成 30 年 5 月に口座振替にて納入する。詳細については、合格者あてに別途通知する。

11. 長期履修について

本研究科では、大学院設置基準第 15 条に定める「長期履修学生制度」(学生が、職業を有しているなどの事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的な教育過程を履修し、修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができるもの)を導入している。

この制度を希望する者は、岐阜大学大学院連合獣医学係まで申し出ること。

12. 出願資格の認定について

本要項 2 の 9 頁の*に基づく出願資格の認定は、次の提出書類及び面接試験により行う。ただし、提出書類の審査によって出願資格が認定された場合は、面接試験は行わない。

(1) 提出書類

①	入学試験出願 資格認定申請書	本研究科所定の用紙 (別紙連獣研様式第 6 号)
②	成績証明書	a. 出身大学の学部のもの b. 出身大学院の研究科のもの
③	履 歴 書	本研究科所定の用紙 (別紙連獣研様式第 2 号)
④	研究歴証明書	本研究科所定の用紙 (別紙連獣研様式第 7 号)
⑤	研究業績書 5 部 正 1 部 副 (コピー可) 4 部	A4 判の用紙を使用して和文の場合は 1,000 字程度、英文の場合は 600 語程度でこれまでの研究業績内容の要約を記載する。なお、これを提出することが不可能な者は、本研究科に出願するに至った経緯を 1,000 字以内にまとめて提出すること。本研究科所定の表紙 (別紙連獣研様式第 8 号) をつける。
⑥	研究成果資料 1 部	研究業績書の内容を裏付ける研究論文及びその他の研究業績を示す資料があれば添付すること。

②の証明書は出身学校が発行した原本を提出してください。提出した原本の返却を希望する場合は、その旨連合獣医学係へ申し出てください。

(2) 提出期間

堤 出 期 間	
第 1 次・秋季入学	平成 29 年 6 月 19 日 (月) ~ 6 月 28 日 (水) まで (当日消印有効)
第 2 次	平成 29 年 11 月 13 日 (月) ~ 11 月 22 日 (水) まで (当日消印有効)

(3) 提出先

岐阜大学大学院連合獣医学研究科 連合獣医学係

(4) 面接試験の日時は、別途通知する。

(5) 審査結果の通知

第 1 次・秋季入学	平成 29 年 7 月 20 日 (木) 頃本人あてに通知する。
第 2 次	平成 29 年 12 月 18 日 (月) 頃本人あてに通知する。

13. 入学資格の認定について

9頁「2.出願資格(8)」に該当する者の認定は、次の提出書類及びこれまでの研究内容等を中心とした口頭試問に基づいて認定する。

提出書類

- ① 入学資格審査申請書（別紙連獣研様式第9号）
- ② 上記①の他に、14頁の(1)の提出書類②～⑥に掲げる書類
提出期間等については、14頁の(2)～(5)の記載に準ずる。

14. 注意事項（願書提出にあたっては、下記事項をよく読むこと。）

- (1) 出願にあたっては、事前に入学を希望する教育研究指導分野の主指導教員（予定者）と相談すること。
- (2) 出願書類は日本語で記載することを原則とする。
- (3) 受理した出願書類及び検定料は返還しない。
- (4) 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めない。
- (5) 出願資格認定審査又は、入学資格審査を必要とする者にあつては、資格認定のための提出書類に加え、出願書類も同時に提出すること。ただし、出願資格を認定するまでは、出願書類は一時預かることとし、出願資格の認定後に書類を受理する。
- (6) 出願に関し不明点がある場合は、本学大学院連合獣医学研究科 連合獣医学係に照会すること。なお、郵便で照会する場合は、郵便番号、住所、あて名を明記し、郵便切手を貼った返信用封筒を必ず同封すること。
- (7) 入学手続きは、指定された期間内に完了しない場合、入学を認めない。

15. 検定料の返還について

- (1) 次に該当した場合のみ、検定料を返還する。
 - ① 出願書類が受理されなかった場合
 - ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
 - ③ 検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
 - ④ 日本国政府から奨学金を支給されている外国人留学生が誤って納入した場合
- (2) 返還請求方法

上記に該当した場合は、下記の連絡先に連絡すること。連絡があった後に「検定料返戻請求書」を送付するので、必要事項を記入の上、「岐阜大学検定料振込金（兼手数料）受領書」を添付して、下記の連絡先に郵送すること。（封筒には「検定料払戻請求書 在中」と朱書してください）

郵送先住所

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 岐阜大学大学院連合獣医学研究科 連合獣医学係

16. 個人情報の取扱いについて

この出願書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、願書に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格発表、合格された場合の入学手続き関係書類の送付等のために利用し、その他の目的には利用しない。

平成 29 年 6 月

岐阜大学大学院連合獣医学研究科 連合獣医学係

〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1

電話(058)293-2987・2988

FAX(058)293-2992

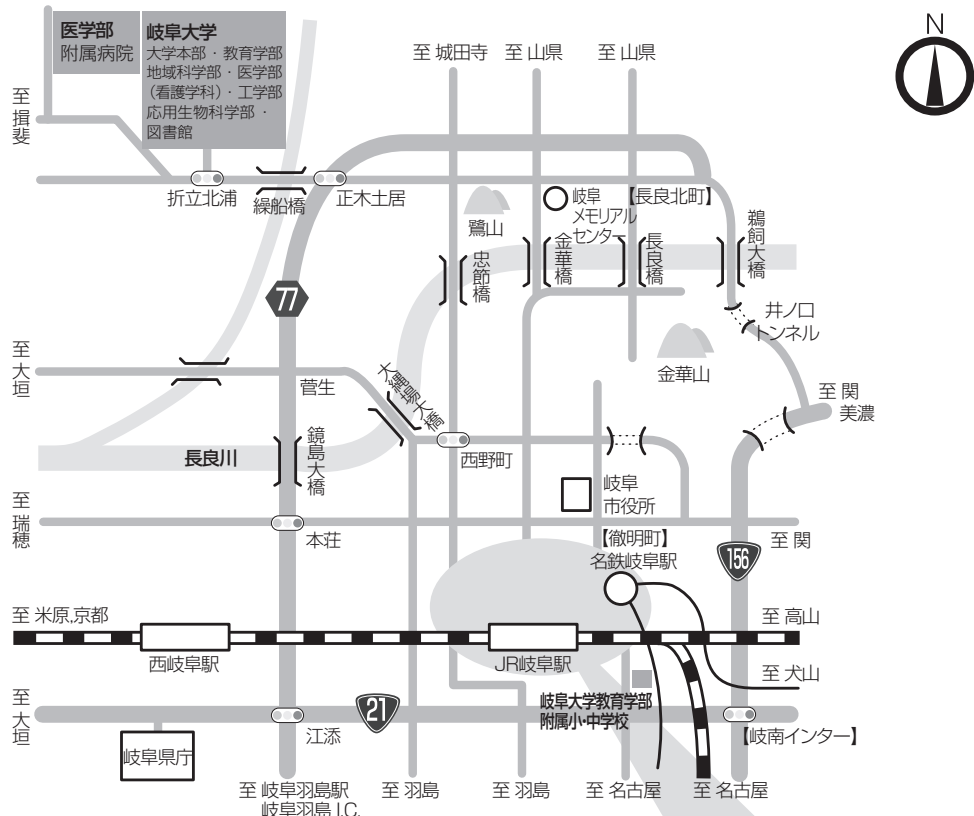
E-mail: renju@gifu-u.ac.jp

岐阜大学大学院連合獣医学研究科ホームページ

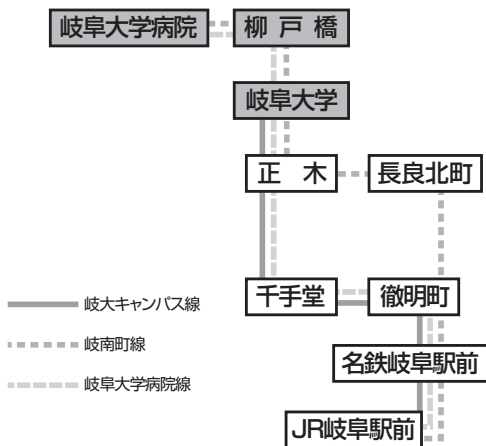
<http://www1.gifu-u.ac.jp/~ugvphdhp/>

試験場への案内

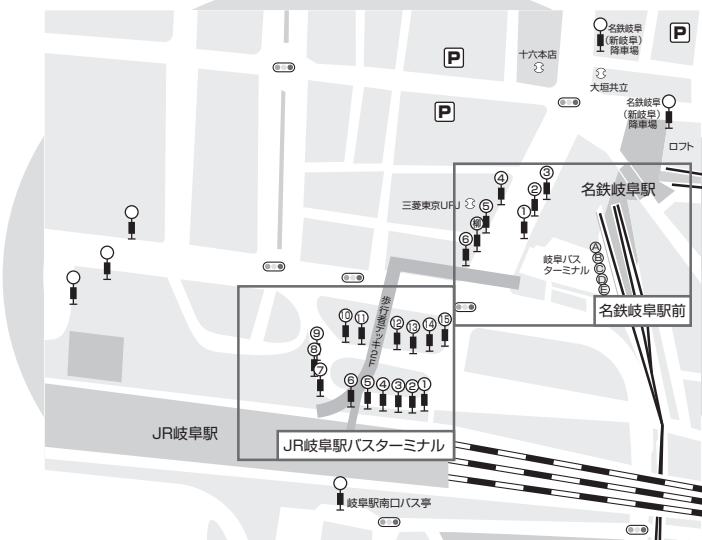
試験場名	バスのりば		路線名	行先	系統No.	所要時間
	JR岐阜駅	名鉄岐阜駅				
岐阜大学大学院 連合獣医学研究科	バス ターミナル⑨	のりば 5	岐阜大学・病院線 (忠節橋経由)	岐阜大学病院	C70	40分
		のりば E	岐阜大学・病院線 (直行・岐大ライナー)	岐阜大学	C72	30分
		のりば 4	岐南町線(長良北町経由)	岐阜大学病院	N45	40分



▼ バス路線図



▼ JR岐阜駅前・名鉄岐阜駅前周辺



UGSVS Charter

Through the cooperation of the veterinary medicine faculty at four universities – Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, Iwate University, Tokyo University of Agriculture and Technology, and Gifu University – and five research institutes, the United Graduate School of Veterinary Sciences (UGSVS) strives to nurture researchers and advanced technical personnel who combine high-level expertise with broad perspectives. The UGSVS offers students readily expandable and applicable education and research experiences beyond what can be expected of single institutions. It strives to contribute to veterinary science and related disciplines and to the overall healthy development of 21st century society.

To these ends, the UGSVS strives to accomplish the following:

1. Fully utilize educational and research resources of all four member universities and five collaborative institutions.
2. Cultivate broad perspectives and high ethical standards in addition to outstanding professional ability.
3. Pioneer original research and gain international esteem as a center for research and education.
4. Release and apply research results to activities for the betterment of society.
5. Foster international exchange through the instruction of international students.
6. Support faculty cooperation and efficient administration.
7. Constantly review, assess, and improve graduate programs and overall course management.

I. Outline of the UGSVS Doctoral Program

1. Vision

UGSVS offers a four-year doctoral course established through the collaboration of four universities with graduate programs in veterinary medicine: Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, Iwate University, Tokyo University of Agriculture and Technology, and Gifu University. There is one course discipline divided into four specialized major tracks. (See next page.)

The UGSVS strives to train outstanding researchers and flexible technologists with the expertise and practical skills to conduct pioneering research, work in diverse areas of society, and contribute to the progress of veterinary sciences and related industries.

The UGSVS strives to promote international cooperation and respond to international veterinary needs. International students are welcome.

2. Features of the UGSVS

The individual histories, locations, and features of the four member universities afford the UGSVS a uniquely diverse program of education and research. Further alliances with the National Institute of Infectious Diseases (2001), National Institute of Health Sciences (2003), National Institute of Animal Health (2004), Japan Racing Association Equine Research Institute (2009), and Central Institute for Experimental Animals (2013) allow students access to research opportunities in state-of-the-art facilities and instruction from research experts. This enables the UGSVS to offer students a liberal selection of research areas, and to train them to respond flexibly to the needs of society.

Course Plan

- (1) Applicants choose a research field from within four major tracks of study: Basic Veterinary Science, Pathogenetic Veterinary Science, Applied Veterinary Science, or Clinical Veterinary Science.
- (2) Students are assigned two assistant academic advisors in addition to a main academic advisor to guide them in developing their research.
- (3) Students base their studies at the institution of their main academic advisor, but enjoy use of facilities at all UGSVS-affiliated institutes.
- (4) Upon successful completion of approved coursework and research, students are awarded the Degree of Doctor of Veterinary Sciences (PhD). Requirements include at least thirty credits (semester hours) of required subjects, presentation of an original thesis, and examinations of proficiency.
- (5) The course is designed to span four years, but may be shortened to three for students who complete all requirements and exhibit exceptional performance.

3. Description of Major Tracks

Course	Major Track	Outline
Veterinary Science	Basic Veterinary Science	Students in this field are trained to become outstanding researchers who will contribute to the advancement of veterinary sciences. Students learn morphology and functions in vertebrates, particularly mammals and birds, and master the fundamentals of pathogenetic, applied, and clinical veterinary sciences. They examine life-science mechanisms from the viewpoint of comparative biology and gain solid experience with many animal species.
	Pathogenetic Veterinary Science	This field integrates fundamentals of anatomy and physiology with knowledge of applied and clinical veterinary sciences to study structures and functions in health and disease. Goals in this field include elucidation of disease mechanisms and prevention of disease. Accordingly, education and research in this field is divided into two areas, pharmacology and pathology.
	Applied Veterinary Science	This field strives to understand the relationships among organisms, etiologies, and the environment, which determine the outbreak of diseases. It includes comprehensive study and analysis at molecular, individual, and population levels. Students apply this knowledge to research important for animal health and welfare, food safety, productivity by prevention of communicable diseases, control of zoonoses, and preservation of the environment.
	Clinical Veterinary Science	This field aims to elucidate etiologies, mechanisms, and pathophysiology of disease. Knowledge of basic, pathogenetic, and applied veterinary sciences is used to develop cutting-edge techniques for diagnosis, therapy, and prophylaxis of diseases in aquatic, farm, companion, and laboratory animals. Students partake in training and investigations into topics such as metabolic and reproductive diseases in farm animals and developmental biotechnologies including embryo transfer.

List of Research Fields

Major Track	Research Field	Subject	Main Academic Adviser (University)	Research Focus	
Basic Veterinary Science	Comparative Histology	Veterinary Anatomy	Nobuo Kitamura (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Comparative histology of the digestive system and autonomic regulatory system	
			Motoki Sasaki (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Differentiation and development and functional morphology of reproductive organs	
	Functional Genomics	Laboratory Animal Science	Hiroshi Suzuki (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Analysis of gene function in vivo by transgenic technology and development of reproductive biotechnology	
	Diagnosis for protozoan Diseases	Veterinary Parasitology	Naoaki Yokoyama (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Epidemiological survey of protozoan disease in domestic animals and development of its control strategy	
	Preventive Medicine for Protozoan Diseases	Veterinary Parasitology	Shin-ichiro Kawazu (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Development of novel vaccines and therapeutic approaches based on functional analysis of the protozoan genome and proteins	
	Diseases control	Veterinary Parasitology	Makoto Igarashi (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Parasitism of protozoan parasites	
	Vector Biology	Veterinary Parasitology	Shinya Fukumoto (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Infection mechanism of pathogens to the vector invertebrate	
	Avian Diseases	Epizootiology	Haruko Ogawa (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Study to understand the mechanisms by which the viruses infect, replicate and induce pathogenesis on avian viral diseases	
	Grobal Infection Control	Veterinary Microbiology	Kentaro Kato (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Study on the molecular mechanism of infection and propagation of parasites and establishment of novel antiprotozoal strategy	
	Neuroanatomy	Veterinary Anatomy	Nobuaki Nakamuta (Iwate University)	Comparative anatomy of the central nervous system and sensory organs in vertebrates	
	Veterinary Biochemistry and Cell Biology	Veterinary Anatomy	Yoshio Yamamoto (Iwate University)	Morphofunctional analysis of the sensory receptors	
	Molecular Cell Physiology	Veterinary Physiology	Keiichiro Kizaki (Iwate University)	Molecular and cellular physiology of feto-maternal interaction	
	Animal Models for Biomedical Research	Laboratory Animal Science	Tatsuya Furuichi (Iwate University)	Establishment of animal models for investigating disease-causing mechanisms	
	Reproductive Physiology	Veterinary Physiology	Gen Watanabe (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Comparative physiology in the regulation of reproductive hormones	
	Comparative Anatomy	Veterinary Anatomy	Hideshi Shibata (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Comparative anatomy of mammals	
	Molecular Physiology	Veterinary Physiology	Kentaro Nagaoka (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Molecular Mechanism of Animal Homeostasis (Endocrinology, Metabolism and Microbiota)	
	Brain Morphology	Veterinary Anatomy	Yasuro Atoji (Gifu University)	Comparative anatomy of the mammalian and avian nervous systems	
	Neurophysiology	Veterinary Physiology	Yasutake Shimizu (Gifu University)	The regulatory mechanism of gastrointestinal motility	
			Takahiko Shiina (Gifu University)	Neuronal regulation of esophageal functions	
	Neurohistology	Veterinary Anatomy	Shoichiro Saito (Gifu University)	Neurohistochemical study correlating with phylogeny of vertebrates.	
	Experimental Animals	Laboratory Animal Science	◆ Hiroshi Suemizu (Gifu University)	Development of useful model for investigating human disease or condition using humanized mice.	
	Pathogenetic Veterinary Science	Neuropharmacology	Veterinary Pharmacology	Toshiaki Ishii (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Molecular basis of physiological and pathological manifestations in the cerebral nervous system
		Diagnostic Pathology	Veterinary Pathology	Yoshiyasu Kobayashi (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Pathogenesis and diagnosis of animal diseases
Pathobiological Science		Veterinary Pathology	Hidehumi Furuoka (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	The pathology of neuromuscular disorders and the pathology of infectious diseases (e.g., animal prion diseases, Lawsonia infection)	
Cellular Pathology		Veterinary Pathology	■ Masanobu Goryo (Iwate University)	The histopathology of infectious diseases in animals	
Histopathology		Veterinary Pathology	Kenji Ochiai (Iwate University)	Pathological analysis on animal diseases	
Veterinary Parasitology		Veterinary Parasitology	Tadashi Itagaki (Iwate University)	Morphology, taxonomy, epidemiology, biology and molecular phylogeny of parasites	
Toxicology		Toxicologic Pharmacology	Hiroshi Sato (Iwate University)	Experimental studies on mechanisms of hormone-induced toxicity	
Clinical Pharmacology		Veterinary Pharmacology	■ Minoru Shimoda (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Ideal pharmacological therapy based on the pharmacokinetics in livestock animals	
			Kazuaki Sasaki (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Clinical pharmacokinetics on animals	
Toxicologic Pathology		Veterinary Pathology	Makoto Shibutani (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Experimental studies on molecular mechanisms of chemically-induced toxicity and carcinogenicity	
		Toxicology	Kazuhiko Suzuki (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Pathogenesis of Fibrosis and Tumors	
Experimental Pathology		Veterinary Pathology	Toshinori Yoshida (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Pathological Research on the Biological Effects of Exogenous Factors in Animal Models of Diseases	
Pharmacology for Endogenous Substances		Veterinary Pharmacology	Toshihiro Unno (Gifu University)	Signal transduction mechanisms of drug receptors in smooth muscles	
Comparative Pathology		Veterinary Pathology	Tokuma Yanai (Gifu University)	Comparative pathology and pathogenetic analysis of various diseases	
Oncological Pathology		Veterinary Pathology	Hiroki Sakai (Gifu University)	Study on neoplastic diseases of animals	
Molecular Pathology	Veterinary Pharmacology	☆ Akiyoshi ■ Nishikawa (Gifu University)	Pathological risk assessment of environmental chemicals		

Major Track	Research Field	Subject	Main Academic Adviser (University)	Research Focus
Applied Veterinary Science	Protein Toxicology	Veterinary Microbiology	Hisao Kurazono (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	The role of protein toxins in bacterial infection
	Pathogenic Microbiology	Veterinary Microbiology	Kenji Murakami (Iwate University)	Viral Infectious disease control in animals
	Environmental Health Science	Veterinary Public Health	Itaru Sato (Iwate University)	Protection against internal radiation exposure
	Veterinary Immunology	Veterinary Microbiology	Hirokazu Hikono (Iwate University)	Immune responses to infectious diseases and vaccinations in animals
	Pathogenic infectious microbiology	Veterinary Microbiology	Tetsuya Furuya (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Infection mechanism of pathogenic protozoan parasites and virus
	Epizootiology	Epizootiology	Junsuke Shirai (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Epidemic control of infectious diseases in animals
	Food Safety Management	Veterinary Public Health	Hiroshi Fujikawa (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Growth behavior of microorganisms in food
	Animal Health	Animal Health	Kazuaki Takehara (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Control of animal infectious diseases
	Infectious Diseases of Domestic Animals	Veterinary Microbiology	Tetsuya Mizutani (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Detection of Unknown Viruses in Domestic and Wild Animals
	Veterinary Epidemiology	Veterinary Public Health	Hideki Hayashidani (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Epidemiology and prevention of bacterial zoonoses
	Animal Behavioral Science	Veterinary Physiology	Toshiyuki Satoh (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Research for proximate and ultimate factors of animal behavior
	Molecular Infectious Diseases	Veterinary Microbiology	△ Hideto Fukushi (Gifu University)	Research on the mechanism of DNA Virus replication and pathogenesis
			Kenji Ohya (Gifu University)	Epidemiology and pathobiology of intracellular bacteria
	Zoonotic Diseases	Veterinary Public Health	Makoto Sugiyama (Gifu University)	The mechanism and control of viral zoonoses
			Naoto Ito (Gifu University)	Studies on pathogenic mechanism of rabies virus and developmet of a novel rabies vaccine
	Wildlife Management	Wild Animal Medicine	Masatsugu Suzuki (Gifu University)	Biology, physiology and morphology of wildlife animals
	Animal Infectious Diseases Contorol	Animal Hygiene	Tetsuo Asai (Gifu University)	Antimicrobial-resistant bacteria in animals
	Diagnosis for Infectious Diseases	Veterinary Public Health	Yasuo Inoshima (Gifu University)	Studies on mechanisms and diagnosis of ifectious diseases
	Emerging Infectious Diseases	Veterinary Microbiology	※ Makoto Ohnishi (Gifu University)	Epidemiology and diagnosis of emerging/reemerging zoonosis and comparative genomics of zoonotic pathogens
		Veterinary Public Health	※ Hiroki Kawabata (Gifu University)	Research on tick-borne bacterial infectious diseass
	Zoonoses	Veterinary Public Health	※ Shigeru Morikawa (Gifu University)	Studies on epidemiology, diagnostics and prevention of serious zoonoses including emerging and re-emerging virus infectious diseases
			※ Satoshi Inoue (Gifu University)	The study of control and prevention of zoonosis(Epidemiology,Diagnosis,Pathogenesis and therapy focused on rabies,etc.)
	Emerging Virus Infectious Diseases	Veterinary Microbiology	※ Masayuki Saijo (Gifu University)	Development of diagnostics and therapeutics for and eludidation of epidemiology and phathophysiology of highly pathogenic emerging virus infections
			※ Syuetsu Fukushi (Gifu University)	Epidemiological and virological studies of emerging viral hemorrhagic fevers
	Food Microbiology	Veterinary Public Health	☆ Hiroshi Asakura (Gifu University)	Molecular epidemiology and control of foodborne bacterial pathogens
		Veterinary Microbiology	☆ Jun Terajima (Gifu University)	Studies on foodborne bacterial diseases and molecular diagnosis of the disease
	Animal Health	Animal Health	★ Masaji Mase (Gifu University)	Epidemiology of the avian viruses
	Veterinary Microbiology	Veterinary Microbiology	★ Takehiko Saito (Gifu University)	Epidemiology and pathogenesis of zoonotic diseases
			★ Daisuke Takamatsu (Gifu University)	Epidemiologu and pathogenesis of bacterial infectious diseases of animal and honeybees
	Transboundary Infectious Animal Diseases	Epizootiology	★ Toru Kannno (Gifu University)	Study for the prevention of the invasion and spread of tranboundary infectious animal diseases including foot and mouth disease
	Epidemiology of Animal Infectious Diseases	Animal Health	★ Toshiyuki Tsutsui (Gifu University)	Theoretical and field epidemiology on animal infectious diseases using modeling and observational approach

Major Track	Research Field	Subject	Main Academic Adviser (University)	Research Focus
Clinical Veterinary Science	Large Animal Internal Medicine	Veterinary Internal Medicine	Hisashi Inokuma (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Diagnosis and treatment of large animal internal medicine
			Kotaro Matsumoto (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Diagnosis and treatment of infectious diseases of large animals
	Veterinary Clinical Pathology	Veterinary Clinical Pathology	Kazuro Miyahara (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Clinical pathology and image diagnosis of livestock animal diseases
	Large animal clinic surgery	Veterinary surgery	Naoki Sasaki (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Large animal clinic surgery
	Diagnosis and Therapeutics for Reproductive Diseases	Veterinary Clinical Reproduction	Motozumi Matsui (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Pathophysiology of ovarian and uterine disorder in cow reproduction
	Equine Reproductive biology	Veterinary Reproduction	Yasuo Nambo (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Reproductive endocrinology in mare
	Bovine Medicine	Veterinary Clinical Pathology	Norio Yamagishi (Obihiro Univ. of Agri.&Vet.Med.)	Pathophysiology, diagnosis, and treatment of bovine diseases
	Metabolic Disease	Veterinary Internal Medicine	Shigeru Sato (Iwate University)	Pathophysiology and prevention of periparturient diseases in dairy cows
	Small Animal Internal Medicine and Pathophysiology	Veterinary Internal Medicine	Reeko Sato (Iwate University)	Pathophysiological analysis of immunodeficiency diseases and development of novel immunostimulatory therapy
			Masahiro Yamasaki (Iwate University)	Studies on the veterinary internal medicine for companion animal
	Small Animal Veterinary Radiology and Surgery	Veterinary Surgery	Yuji Uzuka (Iwate University)	Diagnosis and treatment in veterinary small animal surgery
	Function reconstructive surgery in small animals	Veterinary Surgery	Masaaki Katayama (Iwate University)	Pathophysiology and surgical therapeutics of organ transplantation in small animals
	Controlled Reproduction	Veterinary Clinical Reproduction	Toru Takahashi (Iwate University)	Reproductive management in domestic animals
	Animal health and animal welfare	Animal Health	Keiji Okada (Iwate University)	Evaluation and improvement of quality of life (QoL) of domestic animal
	Zoo and Wild Animal Medicine	Veterinary Surgery	Daisuke Fukui (Iwate University)	Studies on the pathogenesis and the methods for diagnosis, therapy, and prevention of diseases in zoo, exotic and wild animals
	Reproductive Disorders and its Therapy in Domestic Animals	Veterinary Clinical Reproduction	Tomomi Tanaka (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Clinical pathology, diagnosis, treatment and prevention of reproductive disorders in live stock animals
	Oncological Clinicopathology	Veterinary Clinical Pathology	Noboru Machida (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Epidemiology and clinical pathology of neoplastic diseases in companion animals
	Veterinary Dermatology	Veterinary Internal Medicine	Koji Nishifuji (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	To investigate pathophysiology, diagnosis and therapy of the cutaneous diseases in mammals.
	Molecular Diagnostics and Therapeutics	Veterinary Internal Medicine	Tsuyoshi Uchide (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Studies on novel diagnostic and therapeutic methods in companion animals based on the molecular similarities with humans
	Experimental Surgery	Veterinary Surgery	Ryo Tanaka (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Assessment, diagnosis and treatment of cardiac diseases
	Small animal diagnostics and therapeutics	Veterinary Surgery	Ryuji Fukushima (Tokyo Univ. of Agri.&Tech.)	Study of an arrhythmia diagnostics methods and treatments in the small animals
	Small Animal Internal Medicine	Veterinary Internal Medicine	Naohito Nishii (Gifu University)	Development of novel method for diagnosis and treatment of endocrin
	Veterinary Parasitology	Veterinary Internal Medicine	Katsuya Kitoh (Gifu University)	Pathology, diagnosis, treatment and prevention of parasitic and hematological diseases in animals
		Veterinary Pharmacology	Ysaihiro Takashima (Gifu University)	Relation between parasites and hosts
	Veterinary Clinical Oncology	Veterinary Surgery	Takashi Mori (Gifu University)	Pathophysiology and novel therapeutic approaches to neoplastic diseases in companion animals
	Clinical Immunology	Veterinary Internal Medicine	Sadatoshi Maeda (Gifu University)	Studies on molecular pathogenesis of immune-mediated diseases in animals
	Veterinary clinical neurology	Veterinary Internal Medicine	Hiroaki Kamishina (Gifu University)	Studies on molecular pathogenesis of neurological diseases in animals
	Theriogenology	Theriogenology	Tetsuma Murase (Gifu University)	Studies of mechanisms regulating the fertilizing functions in mammalian spermatozoa
			Masaki Takasu (Gifu University)	Molecular breeding of mammals
	Farm Animal Clinical Medicine	Veterinary Internal Medicine	Yasunori Ohba (Gifu University)	Diagnosis, treatment and prevention of diseases in farm animals
	Small animal dentistry and oral surgery	Veterinary Surgery	Kazuhiro Watanabe (Gifu University)	Development of diagnosis and treatment in small animal dentistry and oral surgery
	Equine Podiatry	Veterinary pathology	◇ Atsutoshi Kuwano (Gifu University)	Pathobiological podiatry in equine
	Equine Breeding Science	Theriogenology	◇ Fumio Sato (Gifu University)	Management of equine breeding

※ indicates association with National Institute of Infectious Diseases ★ indicates association with National Institute of Animal Health
☆ indicates association with National Institute of Health Sciences ◇ indicates association with Japan Racing Association (JRA Equine Research Institute)
◆ indicates association with Central Institute for Experimental Animals
■ indicates those who are to retire in March, 2018 (Please contact UGSVS if you wish to apply.)
△ indicates those who are not to recruit new students from Fall, 2017 and April, 2018

II. Admission Policy

The UGSVS is composed of Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, Iwate University, Tokyo University of Agriculture and Technology, and Gifu University, each of which offers a veterinary program.

We offer a four-year program culminating in the Degree of Doctor of Veterinary Sciences (PhD).

We collaborate with the Ministry of Health, Labor, and Welfare's National Institute of Infectious Diseases and National Institute of Health Sciences, the National Agriculture and Food Research Organization, the National Institute of Animal Health, the Japan Racing Association's (JRA's) Equine Research Institute, and the Central Institute for Experimental Animals.

Students study in one of four major tracks and base their research and studies at one of the four member universities or five collaborative research institutes. They enjoy the benefits of the collective resources of all UGSVS collaborative institutes as well as the unique features accorded by the different goals and strategies of these independent entities. This inherent variety allows the UGSVS to offer unique educational opportunities in a variety of research fields according to individual students' aspirations.

The educational philosophy of the UGSVS is to cultivate researchers and highly professional technicians who will be able to contribute to the realization of a society where nature, humans, and animals live harmoniously based on veterinary and related sciences and through the exploration of human and animal life activity.

We accept veterinary graduates with basic knowledge and practical ability, students who have completed master's programs in other curriculums, and foreign students who desire to master advanced techniques and scientific knowledge.

The successful applicant will possess the following qualities:

1. Motivation to contribute to society through the veterinary sciences
2. A high level of interest in research in veterinary and related sciences
3. Motivation to achieve technological advancement in the field of veterinary and related sciences
4. Motivation to contribute to international society based on the veterinary sciences
5. An interest in learning related to the veterinary sciences and a willingness to seek expertise

1. Number of Students to Be Admitted

Discipline	Students to Be Admitted
Veterinary Medicine	20

A small number of additional international applicants will also be accepted.

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, Iwate University and Tokyo University of Agriculture and Technology submit the plan document to set up new graduate schools which start from April, 2018. Therefore, there are case which the number of students to be admitted is changed.

2. Application Eligibility

- (1) Completion of a curriculum in medicine or dentistry, a six-year curriculum in veterinary medicine or pharmaceutical sciences at a Japanese university by March 2018 (September 2017 for fall admission).
- (2) Completion of 18 years of formal education at schools (Limited to a final program in medicine, dentistry, pharmaceutical sciences or veterinary medicine) outside Japan by March 2018 (September 2017 for fall admission).
- (3) Completion of 18 years of formal education through distance learning programs (Limited to a final program in medicine, dentistry, pharmaceutical sciences or veterinary medicine) offered within Japan by schools based outside Japan.
- (4) Completion of a curriculum at educational institute recognized as providing degree programs of a foreign university which follows the school education system of those country, and designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science, and Technology separately within Japan. (Limited to individuals who have completed 18 years of formal education with a final program in medicine, dentistry, pharmaceutical sciences or veterinary medicines.)
- (5) Acquisition of degrees equivalent to a bachelor's degree by completing a five-year or more curriculum (includes completing curriculum which is offered through distance learning program within Japan by schools based outside Japan and at an educational institute positioned by following the school education system of those country and designated as described in the previous clause, (4).) with a final program in medicine, dentistry, pharmaceutical sciences or veterinary medicine at a university or a school outside Japan. (Limited those whose comprehensive status of educational and research activities is evaluated by a person who is certified by the government or a relevant organization of the country and is designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science, and Technology separately.)
- (6) Identification by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (according to the Ministry of Education 1955 Notification No. 39):
 - 1) Those who majored in medicine or dentistry and graduated from a medical or a dental university stipulated by Japan's former University Law (Imperial Ordinance No. 388 issued in 1918).
 - 2) Those who graduated from the National Defense Medical College stipulated by Japan's Defense Agency Establishment Act (Law No. 164 issued in 1954).
 - 3) Those who have completed master's degree program or can otherwise be conferred a master's degree.
 - 4) Those who have completed at least 2 years of a doctorate program that is not divided into a 2-year first phase and 3-year second phase. They should have obtained at least 30 academic credits, necessary research instruction, and be recognized by the UGSVS as possessing academic ability equivalent to 6 years of education in a curriculum of veterinary medicine, medicine, or dentistry at a Japanese university*.

- 5) Those who have a university degree (other than veterinary medicine, medicine, or dentistry), or have completed 16 years of education at a school outside Japan; and after that have at least 2 years of research experience at a university or a research institute, and are recognized by the UGSVS as possessing academic ability equivalent to 6 years of education in a curriculum of veterinary medicine, medicine, or dentistry at a Japanese university*.
- (7) Applicants who entered the other graduate schools (Limited to doctoral program in medicine, dentistry, pharmaceutical sciences or veterinary medicine) of universities according to the second clause of Article 102 of the School Education Law and are recognized by UGSVS as possessing basis of academic ability to continue studying*.
- (8) Applicants who are at least 24 years old and are recognized by UGSVS through an individual qualification review as possessing academic ability equivalent to education in medicine or dentistry, 6 years of education in veterinary medicine or pharmaceutical sciences at a Japanese university**.

Examples: Graduates of junior colleges, technical or vocational schools, Japanese branches of foreign universities, international schools in Japan, or various other schools.

- (9) Completion of a curriculum of at least 4 years in medicine or dentistry, 6 years of education in veterinary medicine or pharmaceutical sciences at a Japanese university, or completion of 16 years of formal education at a foreign school (Limited to a curriculum in medicine or dentistry, a six-year curriculum in veterinary medicine or pharmaceutical sciences) and an outstanding academic record as recognized by the UGSVS*.
- (10) Recognition by the UGSVS as possessing academic ability equivalent to (1)*:
- 1) Those who have completed 4 years of veterinary education under Japan's former university system and have at least 2 years of experience in veterinary research or other relevant work at the time of enrollment (April 1st for spring admission and October 1st for fall admission)
 - 2) Those who are recognized by the UGSVS either as a) possessing academic ability equivalent to 6 years of education in a curriculum of veterinary medicine, medicine, or dentistry at a Japanese university, or b) research achievements equivalent to a master's degree, *e.g.*, by book, thesis, or academic paper publications.

*Applicants who fall into categories (4), (5), (6), (7), (9) or (10) should apply for recognition of application eligibility before applying to the program (see page 31, Section 12).

**Applicants who fall into category (8) should apply for recognition of admission eligibility before applying to the program (see page 32, Section 13).

3. Application Period

Application Period	
First Round & Fall Admissions	Tuesday, July 18, 2017– , Thursday, July 27, 2017 (to be postmarked on or before July 27, 2017)
Second Round Admission	Wednesday, December 13– Tuesday, December 19, 2017 (to be postmarked on or before December 19, 2017)

*Application documents should be submitted in person or mailed. The admission office is open 9:00 am – 4:30 pm, Monday through Friday (except for holidays) for submission.

4. Application Procedure

Submit the following application documents with the application fee. An examination ticket will be issued on submission. If submitting by mail, the applicant must send the documents by registered express mail in an envelope specified by the UGSVS.

(1) Application documents and application fee

i)	Program application form	The official UGSVS application form (Form 1, enclosed) Select a major track and a research field within the selected track.
ii)	Curriculum vitae	The curriculum vitae form (Form 2, enclosed)
iii)	Academic credentials	If you have attended a 6-year university program in Japan, submit an official certificate of graduation or statement of graduation eligibility status for a bachelor's degree or a master's degree.
iv)	Academic transcripts	a) an official transcript from the applicant's undergraduate school(s). b) an official transcript from the applicant's graduate school(s). *If you have graduated or are graduating from a 6-year university program in Japan, submission of a) only is satisfactory.
v)	Photograph 2 copies	Two photographs taken within three months before application. Attach one photo to Form 1. The other is to be attached to the examination ticket. The photos must be 6 cm long by 4.5 cm wide and show from head to shoulders, facing forward with no hat.
vi)	Summary of undergraduate thesis/ master's thesis 5 copies (1 official copy & 4 photocopies)	A summary of the applicant's undergraduate thesis or master's thesis on A4-size paper (about 2,000 characters in Japanese or 1,200 words in English) with a cover page (Form 3, enclosed). If no undergraduate thesis was required, submit a summary of your research work experience. If neither of these is possible, submit a statement of your purpose for applying to the program in 1,000 Japanese characters or less.
vii)	Research proposal 5 copies (1 official copy & 4 photocopies)	A written proposal for research to be conducted at the UGSVS. The proposal must be on A4-size paper, with a cover page (Form 4, enclosed), and should be about 1,000 characters in Japanese or 600 words in English.
viii)	Permission for application	If you are currently employed at a government agency or company, submit a statement of permission for application (Form 5, enclosed) signed by the departmental/institutional director.
ix)	Alien registration certificate on registered matters or a copy of passport	International applicants must submit either an alien registration certificate on registered matters or a copy of their visa showing residence status. A copy of passport is needed to submit if you apply from overseas.
x)	Return envelope	A self-addressed envelope (including the applicant's name, address, and zip code), stamped (392 yen) and 20.5 cm × 9.0 cm in size.

xi)	Application fee	30,000 yen. Send the fee by bank transfer and submit a receipt. * International applicants who are funded by the Japanese government are eligible for a waiver of the application fee. Submit a certificate of a government-funded student status. *An application fee is not necessary for those who will complete the master's program at any Affiliate Universities in March 2018 or September 2017.
-----	-----------------	--

iii) and iv) should be official and original. The copy is not acceptable. In the case of that these documents are needed to return, please contact United Graduate School of Veterinary Sciences, Gifu University.

(2) Submit the application documents to:

United Graduate School of Veterinary Sciences, Gifu University

5. Applicants with Disabilities

Individuals with disabilities (see the categories below) who wish to apply for the program should contact the UGSVS prior to applying so that we can arrange to accommodate the applicant's needs.

Disability	Severity
Visual impairment	A binocular visual acuity of 0.3 or less (in the Japanese system) or other advanced form of visual disability; individuals who cannot read or have difficulty reading even with a magnifying glass
Hearing impairment	Bilateral hearing ability of 60 dB or higher; individuals who cannot hear or have difficulty hearing normal conversation even with a hearing aid
Physical disability	1. Unable to execute or having difficulty executing daily activities, <i>e.g.</i> , walking, even with assistive technology 2. Disability is milder but requires continuous medical observation
Illness (including physical weakness)	1. Medical conditions (<i>e.g.</i> , chronic respiratory disease) requiring continuous medical care or lifestyle control 2. Physical weakness requiring continuous lifestyle control

*These criteria are in accordance with Article 22, Paragraph 3 of Japan's School Education Act.

- (1) Preliminary inquiry:
Applicants with disabilities should consult the UGSVS at least several days before the application period for timely arrangements.
- (2) Documents to be submitted:
- i) Desired major track and research field and anticipated main academic advisor.
 - ii) Names of the department or course and university from which the applicant graduated (or is expected to graduate).
 - iii) Type and severity of the disability. (A doctor's certificate may be required.)
 - iv) Description of necessary services at the examination.
 - v) Description of necessary services after admission
 - vi) Description of services provided by the university from which the applicant graduated (or is expected to graduate).
 - vii) Description of daily living conditions.
- (3) Contact:
United Graduate School of Veterinary Sciences, Gifu University

6. UGSVS Past 5 Years Admission Statistics

Semester/Year	Planned Admissions	Applicants	Exam Attendees	Accepted Students	Enrolling Students
Spring 2017 Second Round	20	9 (3)	9 (3)	9 (3)	9 (3)
Spring 2017 First Round		19 (0)	18 (0)	17 (0)	15 (0)
Fall 2016	Some	6 (4)	6 (4)	5 (4)	5 (4)
Spring 2016 Second Round	20	11 (2)	10 (2)	8 (2)	8 (2)
Spring 2016 First Round		8 (2)	8 (2)	8 (2)	8 (2)
Fall 2015	Some	8 (7)	8 (7)	7 (6)	7 (6)
Spring 2015 Second Round	20	18 (10)	18 (10)	17 (9)	17 (9)
Spring 2015 First Round		14 (1)	14 (1)	13 (0)	13 (0)
Fall 2014	Some	8 (5)	8 (5)	8 (5)	8 (5)
Spring 2014 Second Round	20	15 (1)	14 (1)	12 (0)	12 (0)
Spring 2014 First Round		11 (5)	11 (5)	8 (3)	8 (3)
Fall 2013	Some	7 (4)	6 (4)	5 (3)	5 (3)
Spring 2013 Second Round	20	11 (4)	10 (3)	9 (2)	8 (2)
Spring 2013 First Round		14 (0)	14 (0)	13 (0)	13 (0)
Fall 2012	Some	7 (4)	6 (3)	6 (3)	6 (3)

* Numbers in parentheses represent international applicants (included in the total numbers).

7. Examinations

Applicants are accepted for admission into the program based on the results of the following examinations and review of academic records.

Examinations:

(1) Written Exam

- a. Foreign Language: English
- b. Field Test: Research field proposed in the application. (See attached list on pages 21-23.)

(2) Oral Examination

The 30-minute oral examination focuses on the applicant's undergraduate thesis (or the master's thesis) and submitted research proposal. During the first ten minutes, the applicant presents his/her undergraduate (or master's) research and UGSVS research proposal. This is followed by questions from the committee. (An LCD projector and Windows computer will be provided, or the applicant can bring his/her own computer.)

8. Date and Place of the Examinations

Date		Examination		Time	Place
First Round & Fall Admissions	Thursday, August 31, 2017	Written Exam	English	9:00 – 10:30	UGSVS, Gifu University Campus
			Field Test	11:00 – 12:30	
		Oral Exam		13:30 –	
Second Round Admission	Thursday, February 1, 2018	Written Exam	English	9:00 – 10:30	UGSVS, Gifu University Campus
			Field Test	11:00 – 12:30	
		Oral Exam		13:30 –	

9. Announcement of Results

First Round & Fall Admissions	Tuesday, September 5, 2017	Around noon	The application results will be posted on the websites of UGSVS, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, Iwate University, and Tokyo University of Agriculture and Technology. Successful applicants will receive a letter of acceptance.
Second Round Admission	Monday, February 19, 2018	Around noon	

UGSVS Website: <http://www1.gifu-u.ac.jp/~ugvphdhp/index.html>

10. Admission Procedures

(1) Admission Period

Fall Admission: From Tuesday, September 5, 2017 to Friday, September 15, 2017.

Spring admission: Dates will be announced and admission forms will be sent to successful applicants in early March, 2018.

Accepted applicants should submit admission forms (see below) between 9:00 am and 4:30 pm, Monday through Friday (except for holidays). Documents submitted by mail should be sent by registered express mail by the end of admission period. For fall admission, the documents should arrive at the UGSVS no later than 5:00 pm, Friday, September 15, 2017.

(2) Admission fee and tuition

i) Admission Fee: 282,000 yen (estimated)

ii) Tuition: 267,900 yen/semester (535,800 yen/year) (estimated)

If tuition changes during a student's course of study, the new tuition will be applied on a sliding basis.

Students who will complete the master's program at any affiliate universities in March 2018 or September 2017 are exempt from admission fee.

International students funded by the Japanese government are eligible for admission fee and tuition waivers.

*Tuition for the first semester should be paid by bank transfer in May, 2018. Further information will be provided to accepted applicants.

11. Long-term Enrollment System

Our graduate school has a system called the "Long-term Enrollment System" stipulated in Article 15 of the Graduate School Establishment Standards. This system allows students with a full-time job or other circumstances, who wish to complete the program, to study beyond the standard term for a set period of time with a well-planned curriculum.

Those who wish to use this system must contact the Office of the United Graduate School of Veterinary Sciences.

12. Recognition of Application Eligibility

Recognition of eligibility for applicants who fall into starred (* or **) categories of Section 2, Application Eligibility, is considered based on the following documents and an interview. If the documents are sufficient for recognition, the interview is unnecessary.

(1) Documents to Be Submitted

i)	Application form for recognition of eligibility	Official UGSVS form (Form 6, enclosed)
ii)	Academic transcripts	a) Official transcripts from the applicant's undergraduate program b) Official transcripts from the applicant's graduate program
iii)	Curriculum vitae	Official form (Form 2, enclosed)
iv)	Statement of research experience	Official form (Form 7, enclosed)
v)	Summary of research achievements 5 copies (1 official copy & 4 photocopies)	A summary of the applicant's research achievements on A4-size paper. It should be about 1,000 characters in Japanese or 600 words in English. If this is not possible, submit a statement of your purpose for applying to the program in 1,000 Japanese characters or less. Attach the official cover page (Form 8, enclosed).

vi)	Supplementary materials to show past research experience 1 copy	If available, attach supplementary materials (e.g., a copy of a thesis or research paper) showing the applicant's research achievements.
-----	--	--

ii) should be official and original. The copy is not acceptable. In the case of that these documents are needed to return, please contact United Graduate School of Veterinary Sciences, Gifu University.

(2) Application deadline

Application Period	
First Round & Fall Admissions	Monday, June 19, 2017– Wednesday, June 28, 2017 (to be postmarked on or before June 28, 2017)
Second Round Admission	Monday, November 13, 2017– Wednesday, November 22, 2017 (to be postmarked on or before November 22, 2017)

(3) Submit the application documents to:

United Graduate School of Veterinary Sciences, Gifu University

(4) Applicants will be given a separate notice for the interview date.

(5) Announcement of results

First Round & Fall Admissions	Applicants will be notified around Thursday, July 20, 2017.
Second Round Admission	Applicants will be notified around Monday, December 18, 2017.

13. Recognition of Admission Eligibility

Applicants who fall into category (8) in Section 2, Application Eligibility, on page 26 will be considered for admission based on the following submitted documents and an oral examination focusing on prior research experience.

Documents to be submitted:

- i) Admission eligibility application form (Form9, enclosed)
 - ii) Documents ii) - vi) listed in (1) Documents to Be Submitted, of Section 12, on page 31
- The application deadline and other details are the same as (2) - (5) of Section 12, Recognition of Application Eligibility, on pages 32.

14. Notes

All applicants should read the following notes carefully.

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> (1) Prior to application, consult with your anticipated main academic advisor in your desired research field. (2) As a general rule, application forms should be completed in Japanese. (3) Submitted application documents will not be returned, and application fee will not be refunded. (4) Once application documents are submitted, changes to their content will not be accepted. (5) Applicants who need to apply for recognition of application eligibility or admission eligibility must submit admission application forms in addition to the recognition application documents. These should be submitted together; however, the admission application will be considered pending recognition of eligibility. (6) For further questions, contact the UGSVS Office. If sending questions by mail, enclose a self-addressed (include the applicant's name, address, and zip code), stamped return |
|--|

envelope.

(7) If admission forms are not submitted by the deadline, admission to the program will be canceled.

15. Application Fee Reimbursement

(1) The application fee will be reimbursed under the following conditions.

- i) If the application is not accepted.
- ii) If the applicant pays the application fee twice or pays too much in error.
- iii) If the applicant does not submit an application after paying the application fee.
- iv) If the applicant who is a recipient of a Japanese Government Scholarship mistakenly pays the application fee.

(2) Requesting reimbursement

Please send your request to the following office, if you are eligible for reimbursement.

A request sheet is sent to you after receiving your request. The request sheet and receipt of Gifu University examination fee are needed to submit to the following address. Please write (the request sheet for requesting reimbursement) in red at an envelope.

Address:

The office of The United Graduate School of Veterinary Sciences, Gifu University
1-1 Yanagido, Gifu-shi 501-1193, Japan

16. Personal Information Protection Policy

Personal information contained on application documents, such as names and addresses, will be used only for administrative application procedures, contacting applicants if submitted application information is insufficient, conduction of examinations, announcement of results, and sending admission forms to accepted applicants.

June 2017

United Graduate School of Veterinary Sciences
Gifu University

1-1 Yanagido, Gifu-shi 501-1193, Japan

Phone: +81-58-293-2987/2988

Fax: +81-58-293-2992

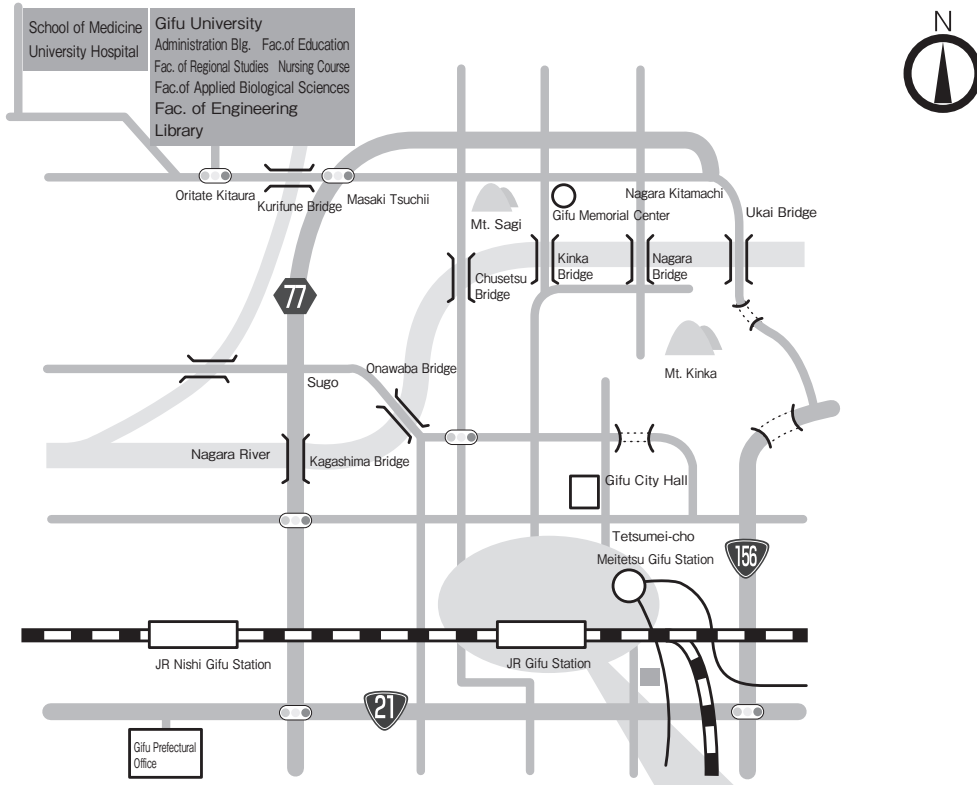
E-mail: renju@gifu-u.ac.jp

Website:

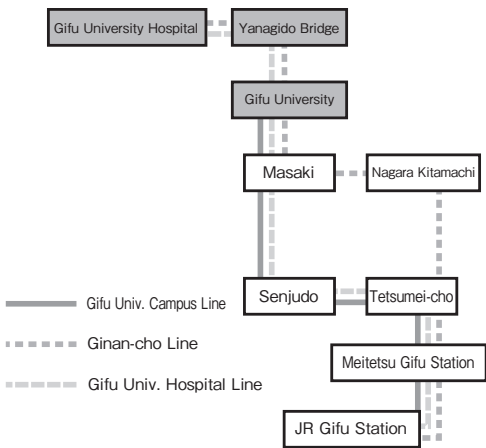
<http://www1.gifu-u.ac.jp/~ugvphdhp/>

Access to the Venue for the Examinations

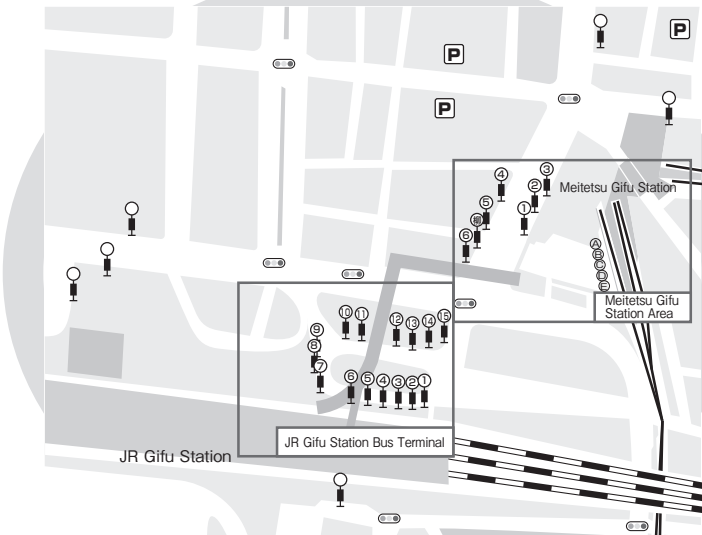
Venue	Bus Stop		Route / Line	Destination	Bus No.	Time
	JR Gifu Station	Meitetsu Gifu Station				
The United Graduate School of Veterinary Sciences, Gifu University	Bus Terminal ⑨	Bus Stop 5	Gifu University•Hospital Line (via Chusetsu Bridge)	Gifu University Hospital	C70	40min
		Bus Stop E	Gifu University•Hospital Line (Nonstop/Gidai liner)	Gifu University	C72	30min
		Bus Stop 4	Ginan-cho Line (via Nagara Kitamachi)	Gifu University Hospital	N45	40min



Bus Route Map



Stations Area Map



Gifu University Campus Map



国立大学法人
岐阜大学大学院連合獣医学研究科

〒501-1193 岐阜市柳戸 1 番 1

電話: (058) 293-2987/2988

Fax: (058) 293-2992

THE UNITED GRADUATE SCHOOL OF VETERINARY SCIENCES

GIFU UNIVERSITY

1-1, Yanagido, Gifu-shi 501-1193, Japan

Phone: +81-58-293-2987/2988

Fax: +81-58-293-2992